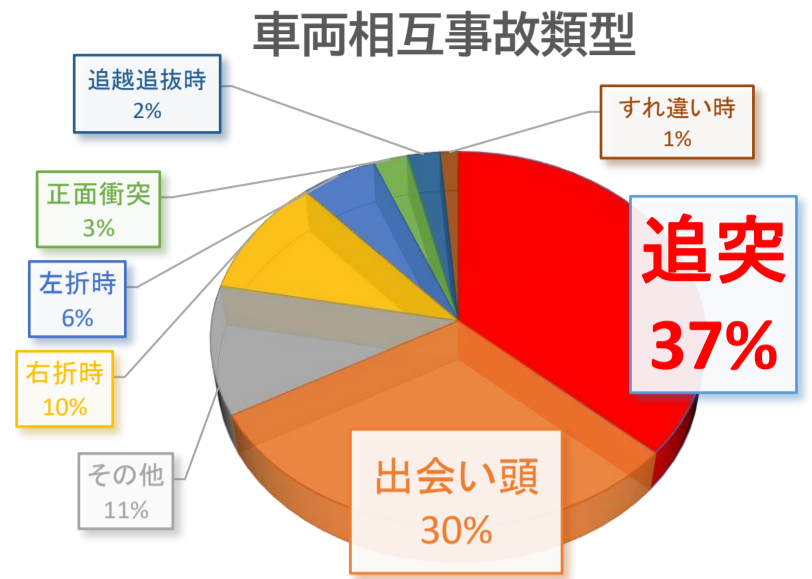


追突事故 に要注意！！

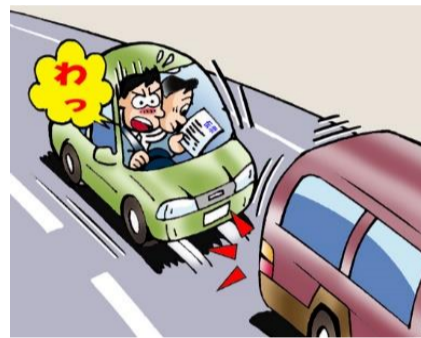
2020年(令和2年)。車両相互事故の中で、**追突事故**が例年に変わりなく最も多くなりました。

前回お伝えしましたように違反データでは**”安全不確認””わき見運転”**が非常に多いことから、追突事故の発生率が高いことも頷けます。



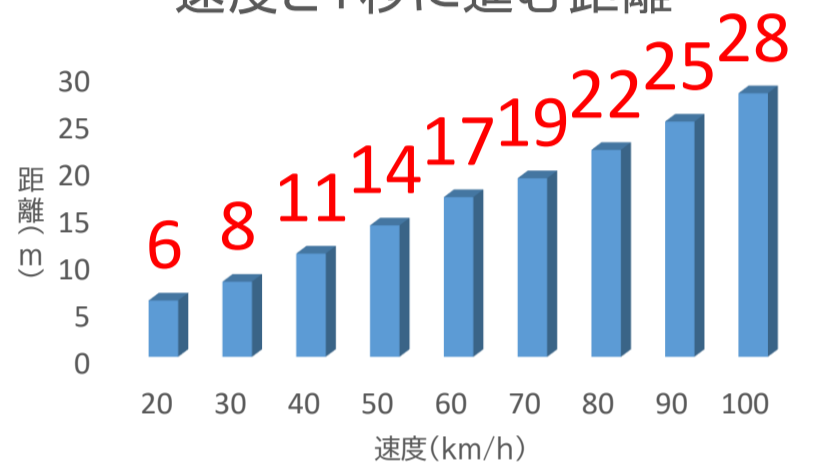
右のグラフは車が1秒間に進む距離を示しています。

携帯電話やカーナビを見るなどで、ほんの1秒脇見をしても、**50km/h走行中なら14m走行**します！



もし前方の停止車両に気づくのが少しでも遅れた場合、皆さんは追突事故を回避出来るでしょうか？

速度と1秒に進む距離



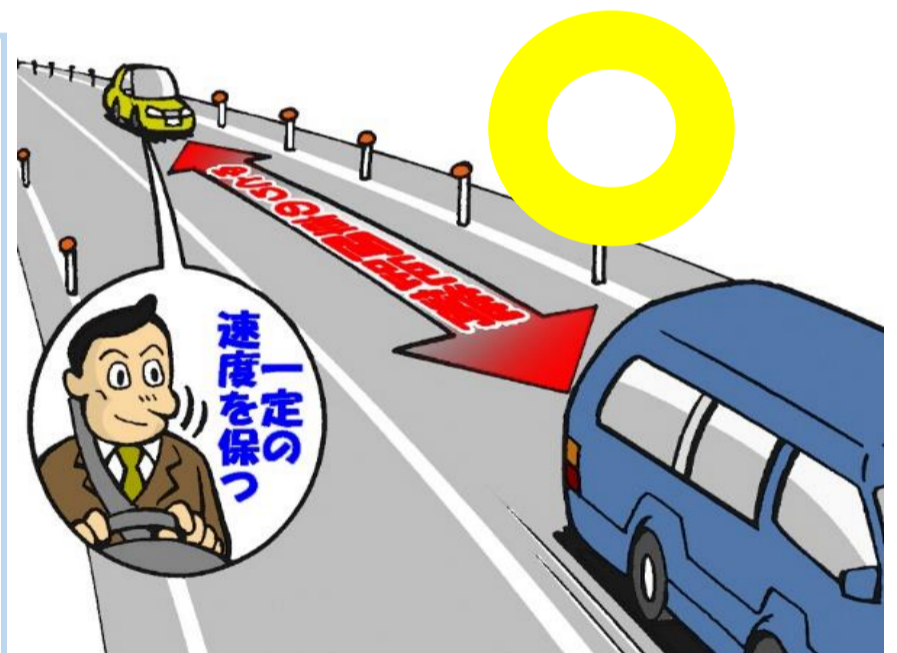
Point1 ~安心な車間距離の確保~

上記に示すことから、非常時に停止する場合はかなりの距離が必要なのがわかりますね。

- ①危険に気付いてブレーキに踏みかえるまでを1秒
 - ②ブレーキを踏んで停止するまでを1秒
 - ③+ゆとりを1秒
- 3秒**

※50km/hの場合、1秒に14m × 3秒 = 42m

という車間距離(車間時間)を保てば、急な停止が必要な場面でも追突を回避しやすくなります。



Point2 ~交通状況を予測した運転~

先行車が曲がる・減速する・停止する、この先は渋滞している..
 など、常に交通状況の変化をとらえながら、**危険予測**のもとにしっかりと集中して運転することが大事です。

単路に見えたところでも、中央分離帯が開放されている部分など**思わぬところ**で前車が曲がる可能性があります。こちらからは見えにくい、道路外の施設や工事・駐車車両も存在し、通常の流れが変化する場合もあるでしょう。

思い込みのない「~かもしれない運転」を！

